

6. 河川の流況と水質

6-1 河川流況

白川の代継橋地点における過去 41 年間（昭和 33 年～平成 10 年）の平均濁水流量は $5.5\text{m}^3/\text{s}$ 、平均低水流量は $13.6\text{m}^3/\text{s}$ である。また、最小濁水流量は 0.0、最小低水流量は $4.5\text{m}^3/\text{s}$ である。代継橋より下流における既得水利として、かんがい面積約 1,035ha の慣行水利がある。

白川流域は阿蘇カルデラに代表される火山性の地質で透水性と保水能力の高い流域であり、また台風や梅雨に起因する降雨量が多いことから、水量が豊富であり、至る所で湧水が湧き出ている。

白川自然流況（代継橋地点）昭和 33 年～平成 10 年（単位 m^3/s ）

区分	豊水流量	平水流量	低水流量	濁水流量	最小流量
最大	44.3	27.4	21.9	17.1	10.6
最小	10.8	9.5	4.5	0.0	0.0
平均	23.2	18.2	13.7	5.5	2.5

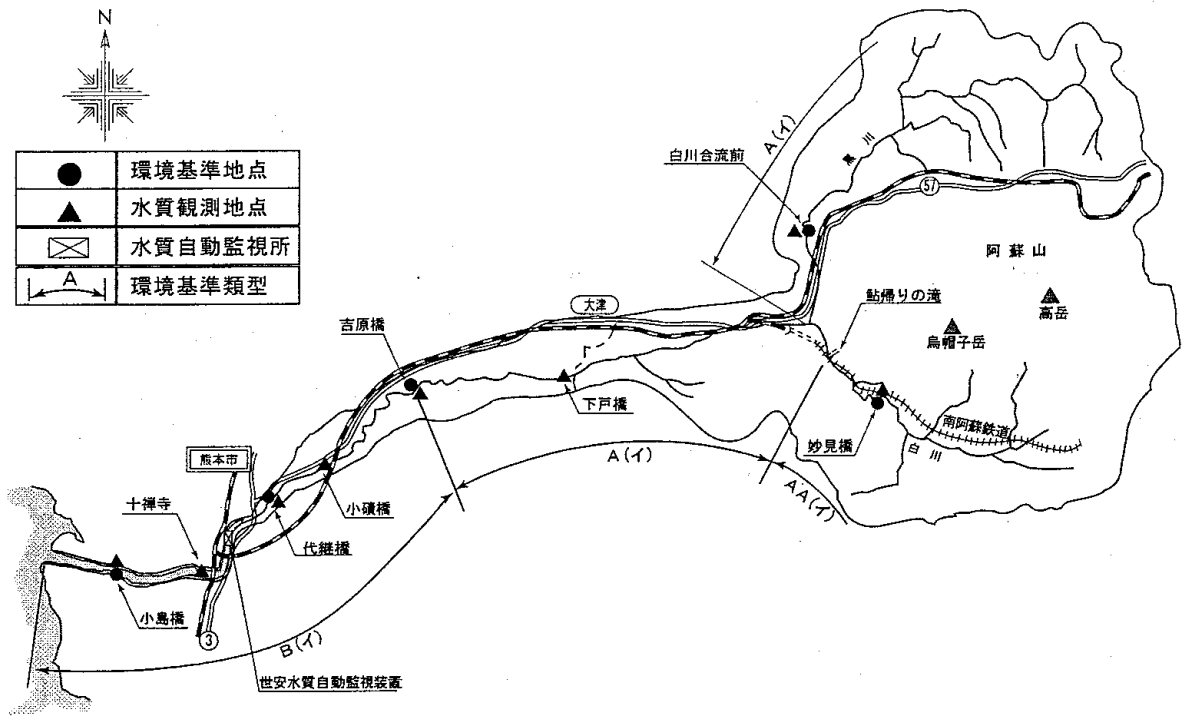
6-2 河川水質

白川水系の環境基準地点は、小島橋、十禅寺、代継橋、小蹟橋、吉原橋、妙見橋、白川合流前の 7 地点が設定されている。各地観測所における BOD の経年変化をみると、環境基準値を若干上回った年もあるが、吉原橋地点を除いて概ね下回っている状況にある。

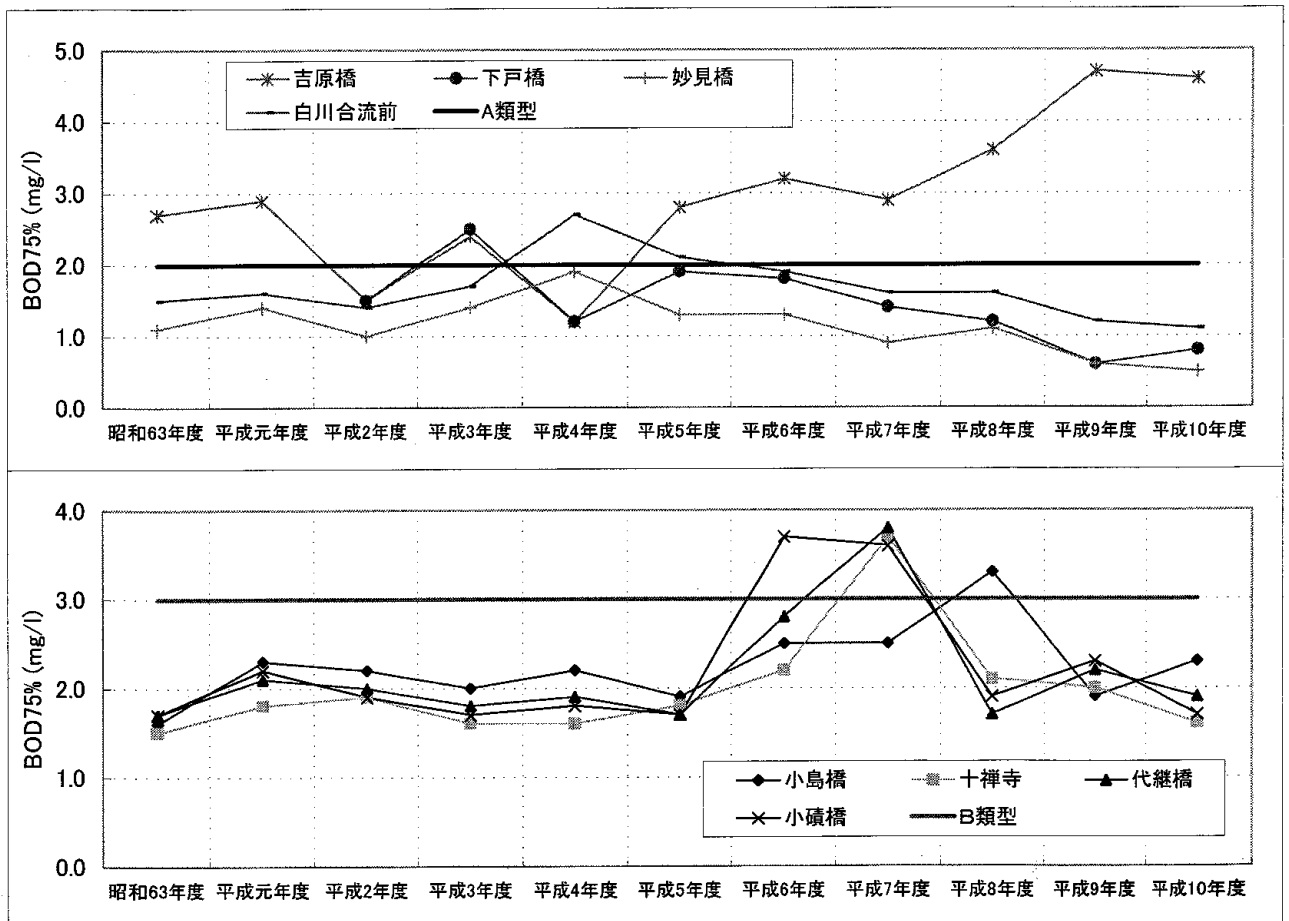
環 境 基 準

水域の範囲	類型	達成期間	環境基準点	指定年月日
白川(鮎尾滝より上流)	AA	直ちに達成	妙見橋	昭和 47 年 12 月 21 日
白川(鮎尾滝より吉原橋まで)	A	"	吉原橋	
白川(吉原橋より下流)	B	"	小島橋	
黒川(全域)	A	"	白川合流前	

各地点の河川水質を BOD75% 値でみると、近年では中流部の吉原橋地点を除き、環境基準値を満足している。



環境基準類型指定状況図



水質 (BOD75%) の経年変化